

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

◆進級要件◆

区分	履修要件
2年次への進級	1年次の配当授業科目のうち専門科目（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位を含む）ならびに教養科目のなかから総計24単位以上修得していること。
3年次への進級	1、2年次の配当授業科目のうち専門科目（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位、「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」4単位を含む）ならびに教養科目のなかから総計60単位以上修得していること。
4年次への進級	1～3年次の配当授業科目のうち、専門科目70単位以上（「初年次ゼミナール」2単位、「基礎ゼミナール」2単位、「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」4単位、「文化演習Ⅰ、Ⅱ」4単位、「世界を学ぶ」2単位、「日本を学ぶ」2単位、「諸言語輪講」1単位の計17単位を含む）ならびに教養科目（「基礎英語Ⅰa、Ⅱa」2単位、「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」2単位の計4単位を含む）を含め、総計100単位以上修得していること。

◆卒業要件◆

4年以上在学し、（1）～（2）に示す要件をすべて充足しておくことが必要です。

（1）卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ①協働学習プロジェクト科目26単位以上 （3つの各領域で、選択したプロジェクト科目1科目と対応する基幹科目1科目、および接続科目2科目の4科目8単位以上、実習・演習科目2単位以上を含む） ②文化社会科目3単位以上 （地域言語科目の中国語、スペイン語、インドネシア語・マレー語のうちいずれかの言語から3単位を含む）	29単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から22単位以上 ②地域言語科目から7単位以上	92単位以上
		10単位以上		
	6単位	—	26単位以上 （人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系から16単位以上、外国語系、日本語系、キャリアデザイン系、スポーツ系、共通基礎系から10単位以上を含む）	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

- 注1. 3つの各領域（文化構想領域、国際共生領域、社会協創領域）におけるプロジェクト科目と対応する基幹科目は「●協働学習プロジェクト科目・基幹科目対応表」のとおりとする。
- 注2. 外国人留学生にあっては、外国人留学生対象の授業科目の修得単位のうち、「日本事情FⅠ」および「日本事情FⅡ」については専門科目の地域文化科目の選択科目の単位に、その他の科目については6単位まで地域言語科目の選択科目の単位に代えることができる。

【English Language Honors Track を選択した学生の卒業要件】

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ①協働学習プロジェクト科目26単位以上 （3つの各領域で、選択したプロジェクト科目1科目と対応する基幹科目1科目、および接続科目2科目の4科目8単位以上、実習・演習科目2単位以上を含む） ②文化社会科目3単位以上 （地域言語科目の中国語、スペイン語、インドネシア語・マレー語のうちいずれかの言語から3単位を含む）	29単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から16単位以上 ②英語基礎科目から6単位以上 ③地域言語科目のうち英語科目から7単位以上	92単位以上
		10単位以上		
教養科目	6単位	－	26単位以上 （人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系から16単位以上、外国語系、日本語系、キャリアデザイン系、スポーツ系、共通基礎系から10単位以上を含む）	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

- 注1. 3つの各領域（文化構想領域、国際共生領域、社会協創領域）におけるプロジェクト科目と対応する基幹科目は「●協働学習プロジェクト科目・基幹科目対応表」のとおりとする。
- 注2. 外国人留学生にあっては、外国人留学生対象の授業科目の修得単位のうち、「日本事情FⅠ」および「日本事情FⅡ」については専門科目の地域文化科目の選択科目の単位に、その他の科目については6単位まで地域言語科目の選択科目の単位に代えることができる。

●協働学習プロジェクト科目・基幹科目対応表

領域区分	開講年・学期	プロジェクト科目	基幹科目
文化構想領域	2年・前期	表象と感性プロジェクト	表象文化論
		歴史学プロジェクト	地域と歴史
		地理学プロジェクト	環境と社会
		比較文化プロジェクト	思想と文化
		人間存在論プロジェクト	テクノロジーと人間
		都市と周縁プロジェクト	異文化の理解
		国際社会と日本語プロジェクト	多文化社会と日本語
国際共生領域	2年・後期	地域研究プロジェクト（英語と諸地域）	グローバルスタディーズ（英語と諸地域）
		地域研究プロジェクト（東アジア世界）	グローバルスタディーズ（東アジア世界）
		地域研究プロジェクト（スペイン語と諸地域）	グローバルスタディーズ（スペイン語と諸地域）
		地域研究プロジェクト（東南アジア世界）	グローバルスタディーズ（東南アジア世界）
		海外特別プロジェクトⅠ	グローバルスタディーズ（英語と諸地域）
			グローバルスタディーズ（東アジア世界）
			グローバルスタディーズ（スペイン語と諸地域）
			グローバルスタディーズ（東南アジア世界）
社会協創領域	3年・前期	言語コミュニケーションプロジェクト	ことばと社会
		メディアと現代社会プロジェクト	メディア文化論
		マイノリティ研究プロジェクト	ジェンダーとマイノリティ
		地域研究・国際政治プロジェクト	比較政治学
		地域とビジネスプロジェクト	国際ビジネス論
		国際貢献・ボランティアプロジェクト	国際貢献論
		海外特別プロジェクトⅡ	ことばと社会

（2）卒業に必要なGPA値

入学時からの累積GPA（後述）が1.3以上であること。

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (GradePoint)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてみようという制度です。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とG Pの対応表およびG P A計算式は次のとおりです。成績の標語は入学年度により異なります。

【2025年度以降入学生】

成績	評語	G P (グレードポイント)	合否
認定	T		認定
100点～90点	S	4	合格
89点～80点	A	3	
79点～70点	B	2	
69点～60点	C	1	
59点～40点	D	0	不合格
39点～0点	E		
評価不能	*		

【2024年度以前入学生】

成績	評語	G P (グレードポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{【A】の修得単位数}) + (3 \times \text{【B】の修得単位数}) + (2 \times \text{【C】の修得単位数}) + (1 \times \text{【D】の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

※【】内は2024年度以前入学生の評語です。

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。

下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績科目分類（略称）	成績科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門科目◆
必修	≪必修≫
選必	≪選択必修≫
文化構想	【文化構想】
国際共生	【国際共生】
社会協創	【社会協創】
実習演習	【実習・演習科目】
選必言語	【地域言語科目】
選択	≪選択≫
地域学芸	【地域文化、一般学芸、言語学芸】
英語基礎	【英語基礎科目】
選択言語	【地域言語科目】
その他	【その他（資格認定含む）】
教養	◆教養科目◆
必修	≪必修≫
選択	≪選択≫
教選択 A	【人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、教養特別】
教選択 B	【外国語、日本語、キャリア、スポーツ、共通基礎】
留学生	【外国人留学生対象科目】
帰国学生	【帰国学生対象科目】
判定外	判定対象外科目
教職課程	◆教職課程科目◆

■問い合わせ先 教務課 072-800-1033/ 072-839-9106